

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ名古屋]

10th Anniversary since 2008

2019 01

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、京都・滋賀、
仙台、福岡、名古屋、広島にて68万部発行
下記URLまでアクセスを。

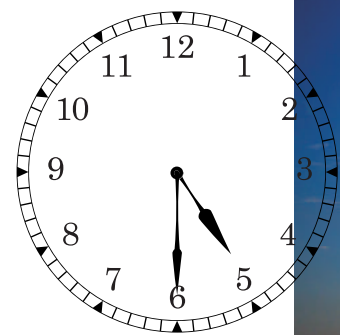
www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041
www.dac-group.co.jp/

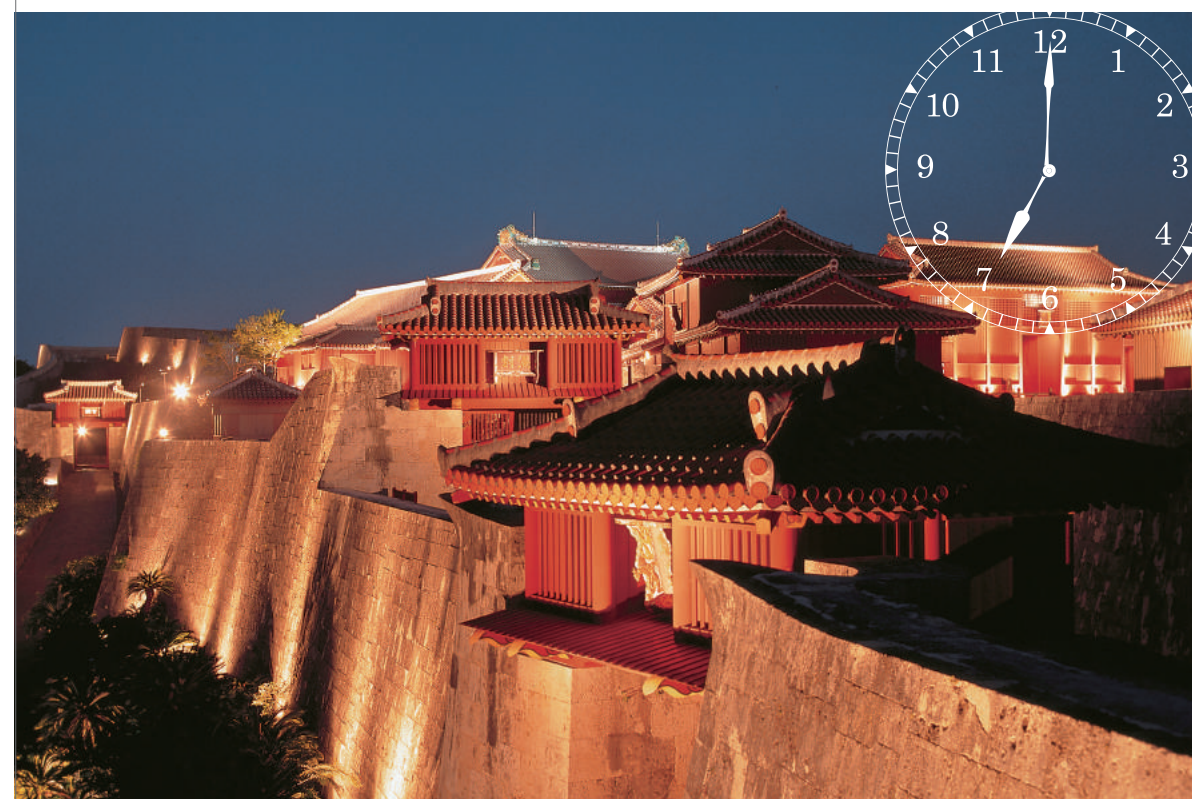
企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション中部
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F
© 2019 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



My Favorite Life Style



空港からビーチへ直行。ゆっくりと移り変わるサンセットの空と海の色は、言葉では言い表せないほど感動的な景色。心地よい潮風も、穏やかな波の音も雄大な自然美を体いっぱい感じてると頭の中が空っぽに。仕事のことも日常のこともきれいさっぱり忘れさせてくれるはずだ。



ライトアップされた夜の首里城へ。昼間は鮮やかな朱色が青空に映える首里城だが、夜は幻想的な雰囲気の中で浮かびあがる朱色の城郭が美しい。世界遺産に指定されたこともあって昼間はたくさんの観光客で賑わうが、夜は観光客も少なめ。昼間とは違う幻想的な姿に魅了されるはずだ。

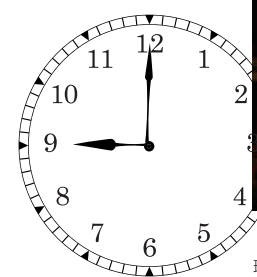
ときには仕事を

放り出し、午後からふらりと南の島へ——。



琉球古民家为本日の宿。何十年も人々の暮らしに寄り添い続けてきた古民家は懐かしい空気で訪れる人を優しく包み込んでくれる。赤瓦の屋根の下、シーサーに見守られながら泡盛を片手に寛ぐ沖縄の夜はかけがえのない特別な時間だ。

OKINAWA from Day 0



なかつた新しい沖縄の魅力を発見させてくれることだろう。そして半日早く旅に出ることで沖縄の夜を楽しむだけでなく、翌日は朝からしつかり沖縄時間を満喫できるのも、半日週末旅の大きな魅力である。ゆっくと朝のビーチを散歩したり、早朝からゴルフへ出掛けたり、離島へ足を伸ばしたり、旅の楽しみ方がぐっと広がっていきはしない。たぐいも少なくも、キラキラとした爽やかな朝の景色に出会えるだけでも十分に価値がある。もちろん求める旅のスタイルはそれぞれ違ってくるが、肩の力を抜いてふらりと気軽に訪れる沖縄はきっと極上の癒しを与えてくれるに違いない。また、太陽の日差しがさんさんと降り注ぐ夏の沖縄はアクティブにレジャーを楽しむにはもってこいだ。オフシーズンの冬の沖縄は静かにゆったりと寛ぐには最適な時期だ。冬でも平均気温は17度と暖かく、亜熱帯気候だけあって森には青々とした植物が生い茂り、豊かな自然が包み込んでくれる。観光客も少ないため、過ごしやすい気候の中でゆつたりと穏やかな大人の寛ぎ時間を味わうことができるはずだ。

「半ドン」という言葉に懐かしさを感じるのは、恐らく30代以降の世代だろう。かつては学校も企業も土曜日は午前中いっぱいまで終了となり、午後から休みになる「半ドン」が一般的であった。その後、週休2日制が導入され、今ではすっかり土曜日も当たり前の土曜日が、子どもの頃を振り返ると半日休みの土曜日はむしろ日曜日よりもワクワクする特別な一日だったように思う。まず、土曜日は朝起きて登校するところからどこか違ったのだ。いつもなら叩き起こされるまで布団に潜り込んでいることも珍しくなかったが、土曜日に限っては不思議と目覚めがよかった。通学路を行く足取りは軽く、授業中の教室にもフワフワとした浮かれた空気が漂っていた。そして、午後のチャイムが鳴り、教室を飛び出していく瞬間には興奮に近い高揚感を覚えたものだ。今日は昼から遊びに行ける——そんなちょっとした特別感がたまらなく嬉しかったのだ。

あつた半日のゆとり時間で沖縄はくつと身近な存在に変わっていくのである。沖縄といえば真っ先に思い浮かぶのは、晴れたる青い空と美しい海だが、太陽が沈み夜が更けていく沖縄もまた昼間とは違った魅力がある。太陽が海に沈んでいく夕暮れ時の景色と波の音は仕事の疲れを抱えてくる悩みにきれいにさっぱり洗い流してくれるだろう。市街地から少し離れたところ、吸い込まれるような満点の星空に出会えるはずだ。さらにライトアップされた首里城やエキゾチックで活気に溢れた夜の街も沖縄らしい魅力で溢れている。非日常を味わいながら泡盛を片手にほろ酔い気分ですり合うのも悪くない。柔らかな風の音色、穏やかな波の音色、弾むような三線の音色など、沖縄の夜はどこも心地よい音で包まれている。半日のゆとり時間は、きっと今までも気づか

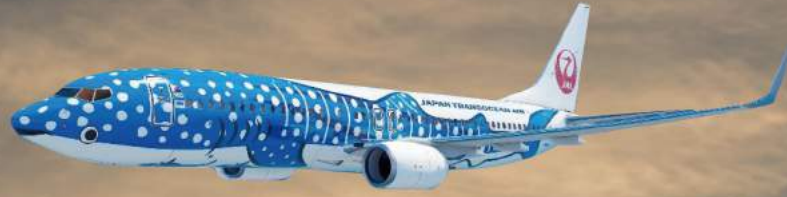
おすすぬしたいのが沖縄である。国内のリゾート地として人気の沖縄だが、昼で仕事を切り上げその足で空港へ向かい、午後2時台の飛行機に乗れば夕方には那覇へ降り立つことができるのである。そこはつい先ほどまで仕事に追われていたことなど一瞬で忘れてしまっほ、ゆつたりとした島時間が流れている。わざわざ大型連休を使って出掛けるのではなく、仕事帰りにふらりとトリップ—— たった半日のゆとり時間で沖縄はくつと身近な存在に変わっていくのである。沖縄といえば真っ先に思い浮かぶのは、晴れたる青い空と美しい海だが、太陽が沈み夜が更けていく沖縄もまた昼間とは違った魅力がある。太陽が海に沈んでいく夕暮れ時の景色と波の音は仕事の疲れを抱えてくる悩みにきれいにさっぱり洗い流してくれるだろう。市街地から少し離れたところ、吸い込まれるような満点の星空に出会えるはずだ。さらにライトアップされた首里城やエキゾチックで活気に溢れた夜の街も沖縄らしい魅力で溢れている。非日常を味わいながら泡盛を片手にほろ酔い気分ですり合うのも悪くない。柔らかな風の音色、穏やかな波の音色、弾むような三線の音色など、沖縄の夜はどこも心地よい音で包まれている。半日のゆとり時間は、きっと今までも気づか

What's?

半ドンとは？ 半ドンは午前中に業務や授業が終了して、午後から休みになる早期終業のこと。半は「半分」の意味で、ドンは「ドンタク」の略である。ちなみにドンタクとはオランダ語で休日の意味するZondag(ソニターク)に由来する。1980年代頃までは企業も学校も土曜日は午前中だけ行う半ドンであったが、1992年には小中学校などで第2土曜日が休みになり、1995年には第4土曜日も休みになり、2002~2003年頃には完全週休2日制が一般的となった。時代とともに働き方が変わり、今では半ドンという言葉を目にするのはほとんどない。

My Favorite Life Style

JAPAN AIRLINES



ダイゼロ
JAL/JTA「Day0」ゆったり沖縄搭乗キャンペーン

仕事が終わったら沖縄に行こう!+0.5日でゆとりのある旅を

JAL/JTA路線往復航空券や沖縄特産品など

抽選で豪華商品を当てよう!

対象搭乗期間

2019年2月28日まで

対象路線/対象便

東京(羽田)/大阪(伊丹・関西)/名古屋(中部)/小松/福岡=沖縄(那覇)路線において、沖縄県外を午後に出発する便(※)が対象。

※午後に出発する便とは、時刻表上、12:00~24:00の間に発する便。
※ジェットスター・ジャパン(GK)とのコードシェア便は対象外。

詳しくは



OKINAWA
from
Day 0

最近、沖縄旅行は「Day0(ディゼロ)」という新しい旅のスタイルが注目されている。「Day0」とは午後出発便を利用して通常の旅程よりも半日早く前乗りする旅のスタイルのこと。半日分のゆとりを生み出しプレミアムな沖縄時間を楽しめるとあって、多忙な現役世代を中心に密かな人気となっている。たとえば朝イチの便で出発しても旅の初日は飛行機の搭乗時間、ホテルまでの移動時間で想像以上に時間がとられ、現地で楽しむ時間は限られてしまうもの。だが、想定していた日程にたった半日プラスするだけで朝からしっかりと現地での時間を楽しむことができるのだ。また、沖縄には遅めの時間に到着しても楽しめるスポットが充実している。民謡ライブを楽しめる民謡居酒屋や、沖縄の食を余すところなく味わえる屋台村など夕方からでも十分に沖縄を楽しませてくれる。また沈みゆくサンセットやグランピングなど、昼間では味わえない自然美を楽しむのもいいだろう。「Day0」は旅の初日の朝だけではない、前乗りしたゼロ日目の夕暮れ〜夜という特別な時間も手に入れることができるのだ。



琉球古民家

沖縄には琉球古民家を利用した宿や沖縄そば屋があり、そこで暮らしているような感覚で沖縄の日常を肌で感じとることができる。赤い瓦屋根の伝統的な琉球古民家の風情を楽しみながら、ゆったりと過ぎていく沖縄の日常を体感してみるのもオススメだ。



グランピング

新しいキャンプのスタイルとして人気を集めているグランピング。沖縄でもグランピング施設が増えており、海を目の前にしたビーチでのグランピングから、やんばるの大自然に包まれたグランピングなど、手軽に快適に沖縄の自然を楽しむことができる。



国際通り屋台村

沖縄で最もにぎわう国際通りの新名所として2015年に誕生したのが国際通り屋台村である。昼間はもちろん日が暮れてからも活気が溢れており、沖縄の島々で採れる食材を使用した郷土料理はもちろんのこと、島唄や踊りなど沖縄の文化を堪能することができる。



サンセットビーチ

沖縄には絶景の夕日スポットがいくつもあるが、最も有名なのは沖縄の中部・北谷町にあるサンセットビーチである。名前の通り、夕焼けが空と海を染める感動的な風景を堪能できる最高のロケーション。観光客だけでなく、地元の人からも愛される人気スポットだ。



JAPAN TRANSOCEAN AIR

<https://jta-okinawa.com>

航空券の予約・購入・問い合わせ

TEL:0570-025-071 (有料)

年中無休(8:00~19:00)

協力:沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー